

出初め式で新たに一致団結



新春恒例の消防隊出初め式が一月八日、県庁前通りで行われました。消防隊員など二百八十二人が参加。隊員の姿勢服装点検や分裂行進などで新年の団結と市民の安全、安心を守る決意を確認しました。また、はしご乗りも行われ、はなれ技に歓声も。



ま え ば し シテイ フラッシュ

県民会館に新成人集う



1月8日、成人祝が県民会館を会場に合併後初めて全市域合同で開催。式典では高木市長らのあいさつに続き、社会人と学生の代表が20歳になった決意を發表しました。新成人が自ら企画する「はたちのつどい」では大抽選会など楽しい催しも。晴れ着に身を包んだ出席者たちは、再会した旧友との話に花を咲かせていました。

市民の思い 市政に実践

今年三十二万前橋市として実質二年目となり、県都前橋の再生、元気で楽しい前橋づくりを具体的な形で市民の皆さんに示し、本市が一段と輝きを増すよう全力を傾けたいと決意を新たにしています。

旧リヴィンや広瀬川を生かした事業、全国都市緑化ぐんまフェアへの取り組み、中核市移行に向けた十分な協議、こうした構想を施策に反映し、市民の期待に応えていくには、職員一人一人の力の発揮が必要です。

職員には、市民の思いと目線に立って、分かりやすい市政を實踐し、活力にあふれるまちに飛躍していただけるよう職務に精励ください。(平成十八年仕事始めの式 一月四日)



これからもさらなる精進を



日書展「梅華賞」を受賞
米倉 謙心さん(58)
昭和町三丁目

第六十回日書展で梅華賞に選ばれ、今月九日まで東京都美術館に作品が飾られた。

普及・発展に多大なる功績を残した故・米倉大謙さんの長女で、現在、日本書道美術院審査会員などを務めている。

「わたしにはまだまだと思っていました。身に余る賞をいただきとてもうれいす。ここまで支えていただいた皆さんのおかげと深く感謝しています」

「書家の子に生まれ、小学生から父に師事していたわたしでさえも、書はとつきにくいものでした。若いころには、なかなか魅力を感じられませんでしたね。でも、年を重ねるに従って、その奥深さに魅せられていきます。字をどう崩して、どれくらいの大きさで配置するか。半紙に筆を運ぶ前に、ノートに鉛筆で構想を練ってから、感覚を研ぎ澄まして何度も清書します。一つの線だけをとりても、にじみやかすれ、勢いやリズムなどいろいろ面白いがあるんです。この受賞を励みに、まだまだ精進を重ねなくては」

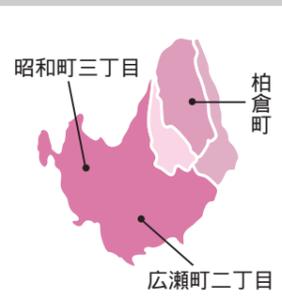
「今まで小さくて細い字の作品が多かったので、今回は力強く、太く書くことに意を用いました。始めの二行を大きく、最後の一行を小さい字で配置したことが評価していただけたなら、喜ばしい限りです」

「こやかな表情の中にも、さらなる意欲を燃やしていた。」



ふれあい広場

情報をお寄せください。市役所市政発信課 890-6642へ。



年またいで 神楽を奉納

上川淵地区

広瀬町二丁目の飯玉神社で、大晦日の夜から元日の未明にかけて、年をまたいで太々神楽を奉納。初詣でに訪れた大勢の参拝客でにぎわいました。



参加した小学生は、「去年は何も取れなかったけれど、今年はお菓子が拾えたよ。友達もみんなもらえた」とうれしそうに話していました。

まちの ニュース news

七草粥食へ 無病息災祈る

宮城地区



一月七日、柏倉町の集落センターで七草粥の集いが開かれました。小学生など六十人が参加。宮城地区の恒例行事で、毎年この日には各町で粥を炊くいい香りが漂います。

七草粥は春の七草を入れた粥のこと。正月のこちそうで疲れた胃を整える効果もあり、これを食べ一年の無病息災を願います。みんなで熱々をほお張り、楽しいひとときを過ごしました。同町の前原健一自治会長は昔から続く素朴な行事ですが、思い出に残り、住民交流も深まります」と話していました。